

## 一液速乾型抗菌抗ウイルスコーティング

**AQ シールド ウイルスバスターライト 拭き上げタイプ**

AQ シールドウイルスバスターライト拭き上げタイプは、SI-O 結合をベースとする  
抗菌抗ウイルスコーティング剤です。

1 液型で硬化乾燥が早く、拭き上げるだけで容易に施工が可能です

## 〈特 徴〉

1. 抗菌・抗ウイルス性を有する。
2. アルコール主体で環境性に優れる。
3. 1 液型で硬化乾燥が早く、拭き上げるだけ容易に施工が可能です。

## 〈使用方法〉

## ①下地処理

- ・ 油分など汚れ、水分を除去する

## ②塗布

- ・ キッチンペーパーやウエス等に原液を適量しみこませ、塗り伸ばします(10g/m<sup>2</sup> 以下)
- ・ 塗りムラや拭き跡がなくなるまで拭き上げる。

## ③塗布後

- ・ 水分が塗布面に付着しないように放置します(8~12 時間程度で硬化乾燥)
- ・ 水滴などが付着したままで放置すると水滴の跡が残ります。

## 〈適応素材〉

各種金属、ポリカーボネート、アクリル、木部、コンクリート部、タイル、ガラス、旧塗膜

※上記素材には、概ね 3 か月程度の耐久性があります。

※上記素材以外は頻繁に再コーティングしてください(密着しません)

## ■使用上の注意

- ・ コーティング対象物以外に液がつかないようにする。万一付着したら、すぐに拭き取る。
- ・ コーティング時、コーティング面に水滴が残っていると、十分な効果が得られない場合があります。
- ・ 塗りむらや拭き取りにくくなる原因となりますので、途中で長時間放置しないで下さい。

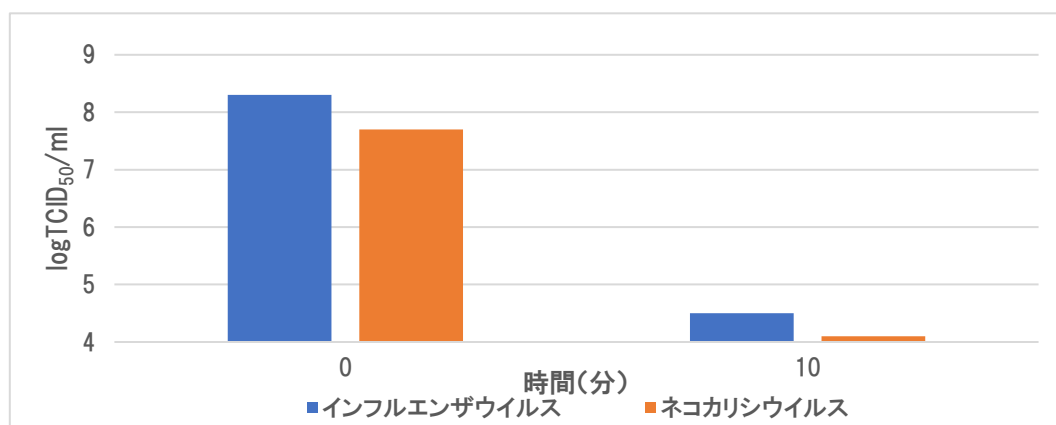
## 〈塗膜性能〉

試験項目	試験条件	試験結果
耐衝撃試験	JIS K 5600-5-3 落球試験 300g×500 mm(直径 25.4 mm)	異常なし
耐溶剤性	エタノール ラビングテスト(500g 荷重/10 往復)	異常なし
耐湿試験	50°C×98%RH×100 時間	異常なし
抗菌性試験	JIS Z 2801(フィルム密着法) 緑膿菌 抗菌活性値	5.8
	JIS Z 2801(フィルム密着法) 大腸菌(O157:H7) 抗菌活性値	≥5.0
抗かび性試験	JIS Z 2801(フィルム密着法) クロカビ 抗かび活性値	2.7
抗ウイルス性試験	ISO 21702 A 型インフルエンザウイルス ウイルス感染価(PFU/mL)	<2.00
	ISO 21702 ネコカリシウイルス ウイルス感染価(PFU/mL)	<2.00

※ 素材:SUS304 膜厚:0.2~0.3 $\mu$ m 硬化条件:常温 1 日以上放置後試験

※ 抗菌性試験、抗かび性試験、抗ウイルス性試験は、ポリカーボネート板にて試験

## 〈参考 抗菌剤での試験データ〉

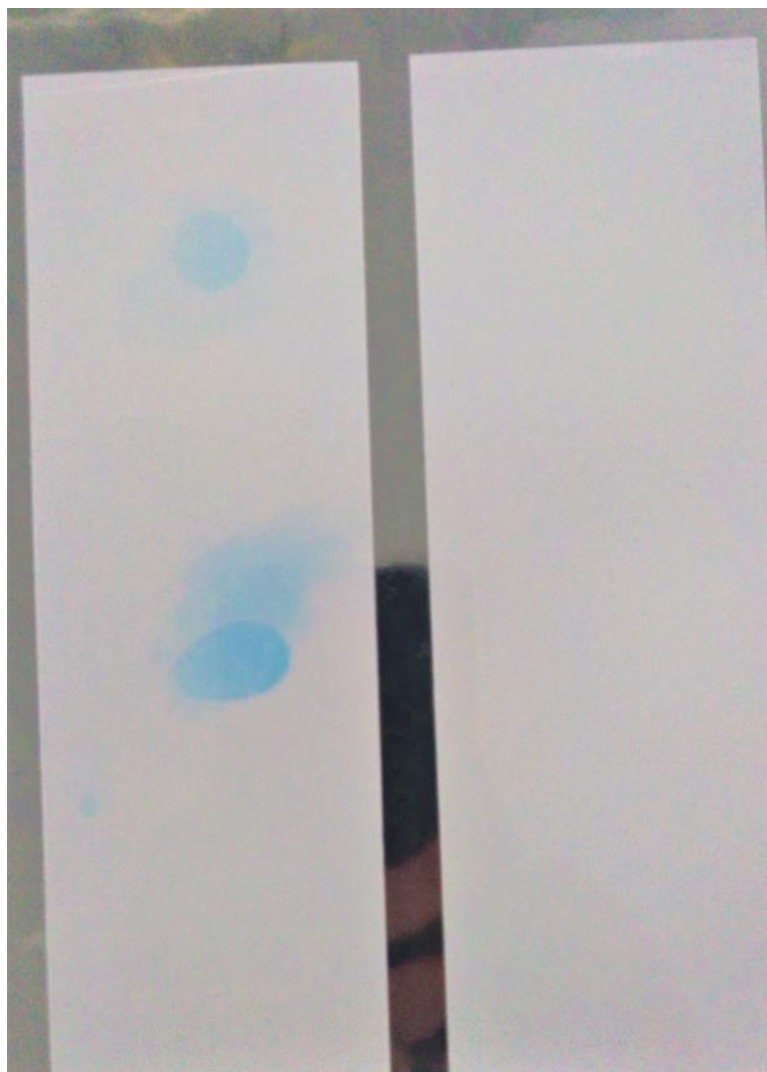


10 分後に、インフルエンザウイルス感染量を約 1/6000 以下、ネコカリシウイルスの感染量を約 1/5000 に不活性化する

## 〈塗装時の注意事項〉

- 塗装環境 ・通気性の悪い環境下での使用は避けてください。
- 前処理 ・素材表面の油分、水分、汚れは中性洗剤等により十分に除去してください。
- 塗装 ・塗装は速やかに行ってください。
- 乾燥 ・乾燥時に有機ガスが発生しますので換気、排気を十分に行ってください。
- 保管 ・塗料は、冷暗所に保存してください。  
・本塗料は空気中の水分と反応する性質がありますので、ご使用後は密栓してください。
- 廃棄 ・塗料の使用残や廃液の処理は SDS(安全データシート)に従ってください。
- 取扱注意 ・可燃性の有機溶剤を使用しているため火気のある所では使用しないで下さい。  
・皮膚や粘膜、特に眼などに刺激性があるため接触しないよう十分注意してください。  
・接触した場合は多量の水で洗浄してください。
- その他 ・詳細な内容については、製品の SDS をご参照下さい。

## 〈抗菌抗ウイルス性の可視化〉



専用の指示薬を滴下・拭き取りすることで、抗菌/抗ウイルス効果が発揮しているかの可視化が可能。  
(左試験片は塗装済みで青く変色する。右は未加工で変色しない)